



第4回中央港湾団交決裂、26日24スト決行 日港協、産別回答に心せず、4月2日もスト通告

第4回中央港湾団交が3月23日開催された。前回の第3回中央港湾団交において3月12日のストライキは延期となったが、そのかわり産別最賃の追認作業で1社でも認めないところがあったならば3月26日はストライキに入るとしていた。追認作業の期限は明日3月24日だが、その期限を前に第4回目の中央港湾団交が23日開催された。

しかし、業側から産別最賃追認に関する回答はまったくなく、組合側より「各地区港湾において、なんとかストライキを回避すべく、労使ともども産別最賃の追認確認作業で汗をかいていただいた。現段階では100%ではないが、概ねこの港も産別最賃について了解が得られている。それなのに、日本港運協会が産別最賃の追認に一切答えないのはどういうことか」と交渉は紛糾した。そして、産別として要求している定年延長についても回答がなく、地区団交権についても「既存の協議体制が整っているので新たな対応は必要ない」とし、指定事業体問題についても「個別対応」とし産別としての対応を拒んできた。

そのため組合側より「これではストに入らざるを得ない」とし14時33分交渉は決裂、3月26日始業時から24時間のストライキに入るとした。また、4月2日についても始業時から24時間のストライキを構えると口頭通告した。

次回の交渉については未定となっている。

フェリー交渉は後日協議の場を設定

同日、フェリー基金についての交渉もおこなわれたが、この問題については日港協会長が出席したところで行いたいとし、後日日程調整とした。

3月24日は全港湾統一要求の回答指定日

明日3月24日は全港湾の統一要求（賃金、定年延長、労災企業補償）の回答指定日。回答が不満の地方・支部は3月25日半日以上ストライキで臨むことが確認されている。行動を背景に、力強く交渉に挑んでいこう！

以上